

平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年11月10日

上場会社名 株式会社 大田花き
 コード番号 7555 URL <http://www.otakaki.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表執行役社長 (氏名) 磯村 信夫
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役管理本部長 (氏名) 金子 和彦

TEL 03-3799-5571

四半期報告書提出予定日 平成29年11月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	12,106	8.0	16		12	64.4	4	10.1
29年3月期第2四半期	13,163	1.6	4	92.2	33	60.1	5	88.6

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 4百万円 (10.1%) 29年3月期第2四半期 5百万円 (88.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	0.97	
29年3月期第2四半期	1.08	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	9,905	4,589	46.3	902.13
29年3月期	9,999	4,646	46.5	913.14

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 4,589百万円 29年3月期 4,646百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		12.00	12.00
30年3月期		0.00			
30年3月期(予想)				12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年 3月期の連結業績予想(平成29年 4月 1日～平成30年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,073	0.3	130	683.5	160	155.3	115	273.7	22.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期2Q	5,500,000 株	29年3月期	5,500,000 株
----------	-------------	--------	-------------

期末自己株式数

30年3月期2Q	412,326 株	29年3月期	411,826 株
----------	-----------	--------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期2Q	5,088,062 株	29年3月期2Q	5,088,487 株
----------	-------------	----------	-------------

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、景気上昇局面にあり個人消費に回復の兆しが見られるものの、好景気を実感しにくい状況でした。

このような経済状況のもとで、当社グループは、花き流通の8割を占める卸売市場流通の流通コストを透明化し、消費者までの花のサプライチェーン全体の物流コストの最適化に取り組んでまいりました。4月から卸売会社である当社において卸売業界初の委託手数料率引き下げを行い、従来一律9.5%としていた委託手数料を8%に引き下げ、新たに荷扱い料を設定し、物流にかかる料金を明確にしました。また、物流面においては、大型物流センター(OTA花ステーション)を本格稼働させ鮮度保持の効いたスピーディーで正確な集分荷を可能にし、出荷者、買参人の満足度向上に努めてまいりました。生鮮食料品花きの需給状況について、野菜は健康志向から需要は底堅く、花きは自然志向の高まりで花木や観葉そして野草を思わせる草花類が堅調でした。しかしながら切花の中で30%強のシェアを占める菊類の需要が減少しました。仏花でも故人や自分の好きな花、季節の花を飾るようになってきたり、葬祭の規模の縮小や多様化で菊類は安値となることがしばしば起こりました。長年菊類の相場が切花全体の市況を決めてきたので、特に4月、7月は切花全体の市況も低迷を極めました。

さらに運送業界の人手不足等による相次ぐ運賃の値上げにより地方の市場、仲卸、大手小売店は仕入先のウエイトを地元の中核市場に移さざるを得なくなる所が多く、全国の商品と最大アイテム数を取扱う当社グループにとっても大きな痛手となりました。特に九州で展開している連結子会社の株式会社九州大田花きでは運賃値上げの影響を受け、夏場に高品質な関東以北の品物を十分に取扱えなかったことも売上高減少の一因となりました。

このような結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高12,106,606千円(前年同四半期比8.0%減)、営業損失16,400千円(前年同四半期は4,679千円の営業利益)、経常利益は12,098千円(前年同四半期比64.4%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は4,960千円(前年同四半期比10.1%減)となりました。

なお、当社グループは花き卸売事業単一セグメントであるため、セグメント別の記載は行っておりません。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は9,905,574千円となり、前連結会計年度末に比べ94,147千円減少しました。これは主に売掛金が236,452千円、有形固定資産が116,922千円減少し、現金及び預金が415,487千円増加したことなどによるものです。

負債は5,315,839千円となり、前連結会計年度末に比べ37,653千円減少しました。これは主に長期借入金が144,920千円減少し、受託販売未払金が132,047千円増加したことなどによるものです。

純資産は4,589,734千円となり、前連結会計年度末に比べ56,494千円減少しました。これは剰余金の配当61,058千円、親会社株主に帰属する四半期純利益4,960千円の計上により利益剰余金が56,097千円減少したことなどによるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末と比較して415,487千円増加し2,573,757千円となっております。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

営業活動の結果増加した資金は、663,935千円(前年同四半期は314,367千円の増加)となりました。主な増加要因は、売上債権の減少235,432千円、仕入債務の増加132,396千円、減価償却費150,479千円によるものです。また、主な減少要因は未払金の減少25,118千円によるものです。

投資活動の結果減少した資金は、34,877千円(前年同四半期は909,164千円の減少)となりました。主な減少要因は、有形固定資産の取得による支出34,326千円、貸付けによる支出31,000千円によるものです。また、増加要因は貸付金の回収による収入36,341千円によるものです。

財務活動の結果減少した資金は、213,571千円(前年同四半期は934,012千円の増加)となりました。主な減少要因は長期借入金の返済による支出144,920千円、配当金の支払額59,850千円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年5月12日に公表しました平成30年3月期の通期の業績予想を修正いたしました。詳細につきましては本日(平成29年11月10日)公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,160,269	2,575,757
売掛金	1,906,959	1,670,507
商品	966	979
未収消費税等	90,417	—
その他	189,595	146,594
貸倒引当金	△4,607	—
流動資産合計	4,343,601	4,393,838
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,371,588	3,297,143
工具、器具及び備品(純額)	474,004	434,331
その他(純額)	131,521	128,716
有形固定資産合計	3,977,113	3,860,191
無形固定資産		
ソフトウェア	28,403	26,396
その他	4,265	4,265
無形固定資産合計	32,669	30,661
投資その他の資産	1,646,336	1,620,882
固定資産合計	5,656,119	5,511,735
資産合計	9,999,721	9,905,574
負債の部		
流動負債		
受託販売未払金	1,262,603	1,394,650
買掛金	68,234	69,893
1年内返済予定の長期借入金	323,808	323,808
未払金	101,000	49,041
未払法人税等	23,195	19,638
賞与引当金	26,000	26,919
その他	148,520	159,598
流動負債合計	1,953,360	2,043,549
固定負債		
長期借入金	2,589,894	2,444,974
退職給付に係る負債	309,047	324,237
資産除去債務	134,512	135,366
その他	366,678	367,711
固定負債合計	3,400,132	3,272,290
負債合計	5,353,492	5,315,839
純資産の部		
株主資本		
資本金	551,500	551,500
資本剰余金	402,866	402,866
利益剰余金	4,042,005	3,985,907
自己株式	△350,143	△350,539
株主資本合計	4,646,228	4,589,734
純資産合計	4,646,228	4,589,734
負債純資産合計	9,999,721	9,905,574

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	13,163,965	12,106,606
売上原価	11,881,702	10,897,681
売上総利益	1,282,263	1,208,924
販売費及び一般管理費	1,277,583	1,225,325
営業利益又は営業損失(△)	4,679	△16,400
営業外収益		
受取利息	2,311	2,085
受取配当金	6,878	7,738
持分法による投資利益	3,170	4,933
貸倒引当金戻入額	8,562	4,645
その他	12,592	14,671
営業外収益合計	33,515	34,073
営業外費用		
支払利息	3,831	5,574
保険解約損	408	—
営業外費用合計	4,239	5,574
経常利益	33,955	12,098
税金等調整前四半期純利益	33,955	12,098
法人税等	28,436	7,138
四半期純利益	5,518	4,960
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,518	4,960

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	5,518	4,960
その他の包括利益	—	—
四半期包括利益	5,518	4,960
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,518	4,960
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	33,955	12,098
減価償却費	146,874	150,479
賞与引当金の増減額(△は減少)	△2,396	919
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	18,600	15,190
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△8,562	△4,645
受取利息及び受取配当金	△9,189	△9,823
支払利息	3,831	5,574
持分法による投資損益(△は益)	△3,170	△4,933
売上債権の増減額(△は増加)	522,396	235,432
たな卸資産の増減額(△は増加)	△582	△13
仕入債務の増減額(△は減少)	△495,459	132,396
未収入金の増減額(△は増加)	1,397	22,793
未払費用の増減額(△は減少)	△5,632	△5,856
未払金の増減額(△は減少)	△23,189	△25,118
未払又は未収消費税等の増減額	170,221	97,568
その他	△16,067	3,143
小計	333,027	625,206
利息及び配当金の受取額	29,186	17,308
利息の支払額	△3,831	△4,864
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△44,015	26,285
営業活動によるキャッシュ・フロー	314,367	663,935
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△911,028	△34,326
無形固定資産の取得による支出	△5,457	△5,893
貸付けによる支出	△34,000	△31,000
貸付金の回収による収入	41,321	36,341
投資活動によるキャッシュ・フロー	△909,164	△34,877
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	150,000	—
長期借入れによる収入	917,000	—
長期借入金の返済による支出	△64,080	△144,920
自己株式の取得による支出	△290	△396
配当金の支払額	△59,863	△59,850
リース債務の返済による支出	△8,753	△8,404
財務活動によるキャッシュ・フロー	934,012	△213,571
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	339,215	415,487
現金及び現金同等物の期首残高	2,034,423	2,158,269
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,373,639	2,573,757

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。